

大分県少年男子チーム

3位入賞おめでとうございませう

受入れチームの紹介

中島民泊は、大分県少年男子チームを受け入れました。

監督一名、選手十六名（森高校・玖珠高校選抜チーム）

宿泊及び調理の状況

宿泊は監督一名一世帯と、選手は二名づつ八世帯で対応しました。

調理は町の献立に従いましたが、選手は玖珠郡出身者であり、普段と変わらない食事であったと思いますが、毎食「美味しい」と言ってお食べてくれました。

歓送迎会の状況

歓迎会は、受け入れ家庭が決まるにつれ盛り上がり、ジュースやケーキでおもてなしました。

送別会は、少年男子三位という成績もあり、焼肉（ステーキ）で労をねぎらいました。宿泊家庭とのお別れが惜しまれましたが、夜には父母が迎えに来られたので、もう少しゆっくり時間が欲しいと思っていました。

応援

応援班も決まり、練習も予定していました

民泊受け入れをして感じたこと

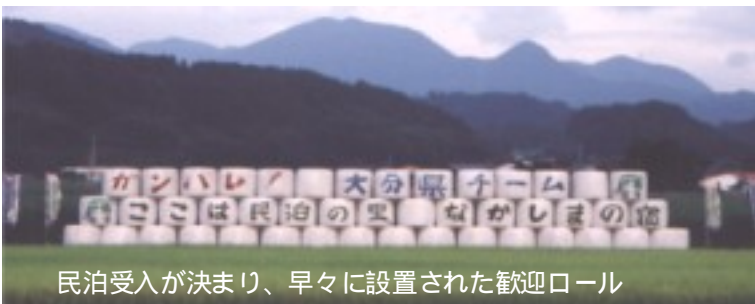
民泊を受け入れる前は、どの家庭も心配していましたが、地元大

分県チームとなったため、父母の会と合同で行うことになり、大応援団となりました。
大分県チームは三試合あり、三試合ともに中島地区より三〇名以上が雨の中応援し、最終日には三位という成績をとるため大変熱の入った応援ができました。



分県チームであったため、玖珠弁丸出で話ができたと、また、大分県少年男子チームの交通手段は選手個人の自転車と父母者会による送迎であったため、父母会と民泊家庭との交流ができたことも良かったと思います。

また、中島公民館には薬師様（十数体の仏像）があり、食事前や試合に行く前に必ず全選手が手を合わせ、キャプテンの号令で参拝し、必勝祈願をしていました。その結果が三位という好成績に繋がったと思います。



民泊受入が決まり、早々に設置された歓迎ロール



中島公民館には薬師様が祭られています